

令和2年度入試 大学別合格者数一覧

【国立大学】		【公立大学】		【私立大学】	
大学名	合格者数(含既卒)	大学名	合格者数(含既卒)	大学名	合格者数(含既卒)
北海道	1	札幌市立	1	北海道医療	1
弘前	1	前橋工科大学	3	奥羽	1
東北	4	高崎経済	1	獨協	6
秋田	2	東京都立	7	文教	1
福島	1	神奈川保健福祉	1	川村学園女子	1
茨城	2	横浜市立	2	国際武道	1
筑波	5	富山県立	1	千葉工業	5
群馬	1	山梨県立	2	青山学院	4
埼玉	4	長野県立	4	亜細亜	1
千葉	6	静岡県立	3	桜美林	2
東京海洋	1	静岡県立	11	学習院	1
お茶の水女子	3	愛知県立	1	北里	8
電気通信	4	名古屋市立	1	杏林	1
東京	1	滋賀県立	2	慶應義塾	4
東京外語	3	京都府立	4	工学院	1
東京芸芸	1	京都府立医科	1	国学院	4
東京農工	1	大阪府立	1	国士館	2
一橋	1	神戸市外語	1	駒澤	12
横浜国立	1	神戸市外語	1	実践女子	1
上越教育	2	岡山県立	1	芝浦工業	17
新潟	2	広島県立	1	順天堂	5
富山	3	計	50	上智	2
金沢	3			白百合女子	1
福井	2			成蹊	7
山梨	7			成城	2
信州	4			専修	6
岐阜	1			大正	2
静岡	23			大東文化	1
愛知教育	1				
名古屋	9				
名古屋工業	1				
三重	3				
京都	3				
大阪	3				
大阪教育	1				
神戸	2				
兵庫教育	1				
奈良教育	1				
奈良女子	1				
鳥取	1				
岡山	1				
広島	4				
山口	1				
徳島	1				
九州工業	1				
宮崎	1				
計	126				



(1995年4月から2004年3月まで在職)

恩師を訪ねて

田村 英敏先生

湖西市出身。京都大学でフランス文学を学び、教育実習は英語、採用試験は国語で受験というマルチタレントだ。初任の川根高で剣道と出合う。「副顧問に手を挙げたのが運の尽き。生徒にしがかれ、えらい目に遭いましたよ」と笑うが、現在7段の腕前、ねんりんピック長崎大会にも出場した。土肥、磐田商(現磐田西)、焼津中央、上海外国語学院を経て1995年(平成7年)、本校に着任した。

クラス担任を3年務めた後、長谷部誠選手も在学した学年の学年主任、剣道部顧問も務め、多くの生徒に慕われた。「茶髪やピアス、遅刻、欠席も多い学年で、正直大変な学年だった。しかし手のかかる子をばうってはおおげず、機会あるごとに声をかけるようにしていた。ある日、遅刻して部室にいた生徒を見つけ、茶髪論争をしたことがある。彼は不幸にも大学2年で急逝。後日母親から彼の私への思いを聞かされ、顧みて愧(くじ)たるものがあった。しかし在学中のかかった生徒たちが、卒業後教育実習に来たり、結婚式のスピーチを頼んできたりする」

「大変な学年だったからこそ教師たちも結束したのかもしれない。個人的に手柄を立てようとか、受験受験と尻をたた

く感じではなかった。そのせいか当時の学年仲間や年に1回、旧交を温めている」

「東高に来てさすがだと感心したのは夢の祭典だ。脚本や舞台装置など全て自分たちで作って演じる。机上の学習とは違った活きた勉強をして人間として成長する。これぞ文化祭だと思った」

「私の授業は全員参加がモットー。1人でも多くあてていた。答えられないと『はい、立って！』、クラス全員を立たせたこともあった。嫌がる生徒もいたが、大方はちよつとした緊張感を楽しんでくれたようだ」

土肥高で始めた校内マラソンは、本校で定年の年まで生徒に混じって走った。「牧歌的な雰囲気の良い時代に教員生活を送りましたよ」と話す。

退職後は藤枝西など5校で、最後に本校でも教壇に立った。今も時に本校道場に足を運び、部員と竹刀を交えている。

「文筆活動も気ままに続け、最近では童話を書き懸賞に応募。新聞の投書や川柳などにも投稿している」そうだ。3冊の著書が本校図書館に所蔵されている。

その他町内有志で放置竹林の整備や通学路の草取りにも汗を流している。

ともかく「ばうっておけない」人だ。

藤枝市時ヶ谷在住。76歳。

(会報委員k)

【短期大学】

大学名	合格者数(含既卒)
静岡県大短	1
計	1

【準大学・専門学校等】

大学名	合格者数(含既卒)
水産大学校	1
静岡県立静岡看護専門学校	1
常葉	201
静岡英和学院	2
静岡福祉	1
愛知	6
愛知学院	13
愛知工業	3
愛知淑徳	4
金城学院	2
福山女子学院	1
中京	12
中部	2
東海学園	1
豊田工業	1

東高1年の歩み (令和元年10月～)

「体育大会」 2019年10月2日
好天に恵まれて、生徒たちは思い切り走り、動き、応援をしました。みんな精いっぱい頑張りました。

「マラソン大会」 2020年1月29日
今年も生徒たちが各自のペースで全力を尽くして走り抜き、全員が完走しました。

3月以降は新型コロナウイルスにより、多くの行事(南祭・球技大会など)が中止となりました。3月2日の**【卒業式】**と4月6日の**【入学式】**も、関係者のみで規模を縮小して実施しました。皆がマスクを着用しています。

◇お断り
本年は新型コロナウイルス感染拡大により、同窓会、学校ともに活動縮小を余儀なくされました。同窓会報「千南原」34号も例年の4ページから2ページに縮小させていただきます。

どんな経験も糧にして



映像翻訳者
田口 絵里
(57回、昭和59年卒)

私は現在、海外の映画やドラマに日本語字幕をつける字幕翻訳の仕事をしています。字幕には、1秒に4文字、1行は14文字以内などのルールがあり、使える漢字も作品や制作会社によって指定があります。ぱつと見てストレスなく読める字幕を作るには、英語力だけでなく読みやすい日本語を書く技術も必要です。表示時間内に読み切れるよう、セリフ原文の情報を取捨選択しながら字幕にしていく時、野本寛一先生に「要約文」の書き方を教えて頂いた現国の授業を思い出します。

バブル期のOLから塾の英語講師を経て通訳学校で学び、放送通訳としてスポーツ報道に関わっていましたが、双子出産を機に在宅で働ける字幕翻訳に転向しました。子育てで大忙しの頃は映画の特典映像(DVDに収録される出演者や監督のインタビュー)や「グレイテスト・ショーマン」の撮影裏話なども訳しました。今年は本編字幕を手がけた映画「ペット・セメタリー」

が劇場公開され、現在は秋に配信が始まる司法ドラマシリーズを翻訳中です。

これまでの道は決して平坦ではなく、学習中にリスニングで耳を酷使したため突発性難聴で入院、放送通訳時代にはアメリカ同時多発テロが起きて番組が全部キャンセルになったこともあり。40代後半はスキーで骨折したり大病をしたりで6回も手術を受け、仕事から遠ざかっていました。でも、人生に無駄なことなどありません。入院経験は病室シーンのセリフを訳す際に役立ちますし、スポーツ報道の翻訳ではサッカーの知識を生かしました。海外ドラマには聖書の引用も多く、幼少期から教会に通っていることに助けられ、中学の頃に趣味で詩を書き写していたこともテンポの良い字幕を書くリズム感につながっています。若い世代の皆さんには、興味の赴くままに様々なことを吸収するようお勧めします。いつか点と点がつながって、人生を豊かにしてくれるはず。

東高を卒業して



弁護士
東京音楽大学理事長
鈴木 勝利
(35回、昭和37年卒)

藤枝東高等学校を卒業して58年、紆余曲折の人生で心に残るのは、東高のおおらかな校風である。焼津中学から進学した私は廊下の汚さに唖然としたが、直ぐ馴染んでしまった。3年のとき、期末試験の問題が2年生と一緒だと分かり、自尊心を傷つけたられた私は試験をボイコットしたが、先生たちは何も言わなかった。進学校だが煩わしい指導もなく、しかし私たちが様々な大学に進み、社会人として可なり活躍できたのは、東高で培われたおらかさのおかげと思う。

私が弁護士になった1970年代は英語を業務のツールとする法律事務所は希で、そのようなとき、上智大学の英会話教室と米国の法律事務所が英語力を磨き、経済界に「渉外」という専門分野を提供して成功を納め、大法律事務所を築いた先輩が身近にいた。目の前に手本があるのに30年何もできなかった私は、前所長の急逝を機に、学校の顧問が多い特色を生かし「学校法務の

専門家」を標榜したところ、全国の大学や高校から大きな反響があり、この分野に限れば、他の追随を許さない法律事務所を作れたと自負している。

私は時折、なぜ音楽大学の理事長になれたのか聞かれる。偶然ですと答えるが、本学創立者の女婿で東大法学部長をされた我妻榮先生が本学2代学長となり、歴代理事長には法律家が多い。理事長に就任した私は、世界の音楽大学が30年前から志願者を減らしているのに何の改善策も講じていないことを知り、愕然とした。志願者が減る原因は18歳人口の減少でなく、「優れた音楽家の育成」を唯一の教育目標としていることにあり、この改革が急務と考える。音楽・英語・リベラルアーツ・IT技術を融合した教育を行うことにより学生の進路の多様化を図り、あたかも法学部のように、専門家を目指さない学生も志願する音楽大学にしようとの改革を続けている。

随想